

肝動脈化学塞栓療法(TACE)臨床パス患者用

様

	治療前日(入院)	治療当日(/)			治療後1日目 (/)	治療後2日目 (/)	治療後3~7日目 (/)
		治療前	治療中	治療後			
観察	看護師が必要に応じて病室に訪問し体温、血圧、症状を観察します 検査後は、症状が安定しないので、体に起こっている変化を観察していくことが重要です。いつもと違うような症状(治療後の痛み、吐き気、発熱)に気付いた時は、医師や看護師に申し出て下さい						
安静	自由に動く事ができます	特に制限はありません。検査の台に乗るために数段の階段を上がっていただきます。それに合わせて歩行か車椅子または寝たまままでカテーテル室まで行きます	検査中は基本的には体を動かすことはできません。医師の指示に従って下さい	寝たまままで帰ってきます。翌朝の医師の診察があるまで寝返りはできませんがベッド上で寝ていてください。起き上がることはできません	医師の診察後は、制限はありません	自由に動くことができます	
食事	治療食を召し上がっていただきます 	治療が午前中の場合、前日の夜9時以降は食べ物や水分は摂れません 午後の場合、朝食は半量食べることが出来ます。その後は食べ物や水分は摂ることが出来ません	水は口に含む程度に摂ることが出来ます	治療後から、飲水はできます 寝たまま食べやすいおにぎり食を摂っていただきます	朝医師の診察後に朝食を召し上がっていただきます	治療食を召し上がっていただけます 	
清潔	入浴できます	治療前では制限はありません			体を拭くことが出来ます。入浴は出来ません		絆創膏を剥がした後入浴出来ます
排泄	トイレに行くことができます	検査前から翌朝安静解除になるまで排尿用の管が入ります(排尿用の管を入れない場合はベッド上で寝たまま尿器を使用していただきます) 排便は安静を保てるように、ベッド上で寝たまましていただきます 尿の管が抜去された後はトイレに行く事ができます				トイレに行くことができます	
診察・処置	毛の処置と足の甲に印付けをします 尿の管を入れない場合は、ベッド上で寝たまま尿器を使用する練習をします	治療前に排尿用の管と点滴をいれます カテーテル室で治療を行いません			医師の診察後に排尿用の管を抜きます		カテーテルを挿入したところの、絆創膏を剥がします
検査	場合により事前に検査を行うことがあります				採血を行いません		
薬物療法(点滴)		持続点滴を開始します。抗生剤を治療前と夜に投与します			持続点滴は午前中に終了します 抗生剤のみ投与します		抗生剤が終了したら針を抜きます
薬物療法(内服薬)	常用薬は内服して下さい	痛み、発熱、吐き気などの症状が出た時は、薬を使用することが出来ます					
		常用薬は医師の指示があったものを服用して下さい			常用薬は内服して下さい		
説明	医師から病気と治療の説明があります(入院診療計画書をお渡しします) 薬剤師から内服薬の説明があります 看護師から検査の流れと注意事項、また入院生活の説明があります						
目標	治療についての目的や方法を理解する			苦痛症状がある時は訴えることができ、症状が緩和される			

☆症状や経過によってはスケジュール通りにならないことがあります。

1998年7月作成(2020年11月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院B6病棟